



借りられる本が

3点から5点に！！

「1週間で3冊じゃ少なすぎる！」
そんな読書家のための特典☆
なが〜いシリーズのまとめ読みはいかが？



読書マラソンを始めて
オリジナルグッズをゲット！

読書マラソンを始めた人全員にオリジナルグッズをプレゼント！

移動図書館やります！！

6/21(金) 15:00～ @第1校舎昇降口。
おもしろい本をひっさげて参ります！
普段ULTまで来ないひとは、ぜひ移動図書館で本を借りましょう★
*本を借りるには身分証明書が必要です。

こ、この本...
おもしろすぎるか...!



放送風景 (イメージ)

たのしいイベントもあるかも？！

詳細はお昼の放送を聞いてね！

図書委員の役員+有志生徒があつまって、イベントを企画しています。
また、それをPRするために、お昼の放送用に原稿を作成→録音→編集してCDを作っています。
今回のイベント参加希望はもちろん、今後有志としてイベントの企画・広報に携わりたいひとも大募集！興味のあるひとは、カウンターの司書まで☆

新着案内

5月の新着資料は118点。
一部抜粋でお知らせします。

↓理系 リケダン・リケジョ、大歓迎♪



タイトル	著者	請求番号
気になる科学：調べて、悩んで、考える	元村有希子著	404-モト
日本のジオパーク：見る・食べる・学ぶ	尾池和夫、加藤碩一、渡辺真人著	455.1-オイ
菌類のふしぎ：形とはたらきの驚異の多様性	国立科学博物館編	474.7-コウ
校庭の雑草 4版	岩瀬徹、川名興、飯島和子共著	479.03-イフ
水族館の仕事	西源二郎、猿渡敏郎編著	480.7-ニシ

↓深く知る 歴史も古文も、教科書の勉強だけじゃもの足りないあなたに☆

タイトル	著者	請求番号
図説宮中晩餐会	松平乗昌編	210.09-マツ
今昔物語集の人々 平安京篇	中村修也著	210.36-ナカ
戦国武将「旗指物」大鑑	加藤鐵雄著	288.6-カ
日本と朝鮮半島100年の明日：新聞記者が高校生に語る	朝日新聞社「百年に明日ニッポンとコリア」取材班著	319.1021-アサ
マッカーサーと戦った日本軍：ニューギニア戦の記録	田中宏巳著	391.2-タナ
図説中世ヨーロッパ武器・防具・戦術百科	マーティン・J・ドアティ著	391-Da
和算の事典	山司勝紀、西田知己編集	419.1-ヤマ
定本和の色事典	内田広由紀著	757.3-シナ

↓世界へ！『ヤノミミ』は奥アマゾンの原住民の記録。『対訳ニッポン双書』は和英併記です。

タイトル	著者	請求番号
旅に出たくなる地図 世界 16版	帝国書院編集部著	290.3-テイ
現代アジア事典	上原秀樹、川上高司、谷口洋志、辻忠博、梶井弘一、松金正編	292.03-ウエ
オーストラリアのマイノリティ研究	早稲田大学オーストラリア研究所編	316.871-ワセ
ヤノミミ	国分拓著	382.62-コウ
全図解日本のしくみ 新版(対訳ニッポン双書)	マイケル・ブレイズ訳	302.1-アハ
ニッポン風物詩(対訳ニッポン双書)	とよざきようこ著	382.1-トヨ

ULT NEWS

夏の宿題はULTで！

1年生はキャリアガイダンス関連、2年生は修学旅行関連で、読書・調べものの宿題が出ます。3年生は進路のための読書が必須！
家庭学習期間もULTは開館しています。カレンダーを確認して、涼しいULTで勉強・読書をしよう☆
三者面談の際は、保護者の方にも館内をご見学いただけます。

コラムdeリレー

第40回は、橋本綾子(相撲好き)が担当です。

お題は「郷愁を感じる本」。札幌出身のためか、北海道が題材の小説などを読むと、たいてい郷愁を感じてしまいがち。私は、どうも“地元びいき”が過ぎるようです。とはいえ、北海道が題材の本を、自らすすんで読み漁ったりということはないのですが、唯一「これは、絶対読んでおこう！」と強く思ったのが『私の男』(桜庭一樹)です。第138回直木賞受賞作です。



物語の舞台は、北海道・紋別市。人口3万人程度の小さな海辺の街で、私の祖母が住んでいる街です。海辺といってもオホーツク海ですから、砂浜！海水浴！というさわやかな気配はみじんもありません。潮風よりも水産加工場の独特の匂いの方が強く、街全体がなんとなくどんよりとしています(ばあちゃん、ごめん笑)。本には「冬はとにかく、一面の白だ。平野がぜんぶ雪にかくされて、白い布をかぶせたようで、空もまた青ではなくて、白くけぶる。(略) 天気が崩れると、空だけが暗い灰色になる。」という描写があるのですが、紋別の冬が端的かつうまく表現されていて、思わず「そうそう！」と声に出してしまいました。ほぼ毎年正月は紋別で過ごしていたので、とても懐かしい気持ちになりました。

肝心のあらすじは、これがまた大変ディープ(笑)。「暗い北の海から逃げてきた父と娘の物語」...なのですが、紋別が舞台という理由だけで読んだのを多少後悔しました。登場人物に「雨と夜の匂いのする男」がいるので、じっとりじめじめする今の季節にぴったりかもしれません。重たい物語を求めている方は、ぜひどうぞ！ただし、胃もたれ必須です。

ところで、私は、大学進学と同時に上京したので、あと数年で、関東で過ごしている年月が、札幌で過ごしていた年月を超えてしまいます。そのことを考えると、自分にしかわからないほんのちょっと寂しい気持ちが、ぐぐっと溢れてしまいそうになります。というわけで次は「寂しい気持ちになる本」を教えてください。夏も近いのに、暗いお題が続いてしまいますが、ご容赦ください(笑)。

↓日本の小説 いろんな作家さんの本、入りました。

タイトル	著者	請求番号
何者	朝井リョウ著	913.6-アサ
真夜中のパン屋さん(ポプラ文庫) 2~3	大沼紀子著	913.6-オオ2,3
写楽 閉じた国の幻	島田荘司著	913.6-シマ
HEARTBEAT(ハートビート)(創元推理文庫)	小路幸也著	913.6-シヨ
私を知らないで(集英社文庫)	白河三兔著	913.6-シラ
九つの、物語(集英社文庫)	橋本紡著	913.6-ハシ
楽園のカンヴァス	原田マハ著	913.6-ハラ

↓ゲークワックシリーズ 恐ろしい！おぞましい！でもおもしろい！?

タイトル	著者	請求番号
人間狩り	フィリップ・K・ディック著	908.3-Da-1
不思議の森のアリス	リチャード・マシスン著	908.3-Da-2
タイムマシンの殺人	アントニー・パウチャー著	908.3-Da-3
グランダンの怪奇事件簿	シーバリー・クイン著	908.3-Da-4
漆黒の霊魂	オーガスト・ダーレス編	908.3-Da-5
最期の言葉	ヘンリー・スレッサー著	908.3-Da-6
残酷な童話	チャールズ・ボウモント著	908.3-Da-7
終わらない悪夢	ハーバート・ヴァン・サール編	908.3-Da-8
シャンブロ	C・L・ムーア著	908.3-Da-9
觸髅	フィリップ・K・ディック著	908.3-Da-10